

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1

令和3年12月24日

協議会名: 美濃加茂市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生かして生活交通確保維持改善計画(どのよう)に反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
新太田タクシー株式会社	あまちの森・しようよう線 美濃太田駅南口～わらべ村～美濃太田駅南口	コミュニティバスの利用促進に向け、継続的なダイヤ改正や利用促進策(YouTube等の活用やバスに親しむ日の実施、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済、スマートフォンを使ったモバイル定期券の導入により、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ・年間利用者数 目標値/19,630人 実績値/18,778人 未達成の理由:新型コロナウイルス感染症第4波及び第5波の影響で休校や総合福祉会館の休館が生じたため利用者数が想定程伸びなかったと考えられる。	運行を継続するとともに、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図るとともに、目標達成に向け、外出を控える方に対し、利用を促す企画やPRを実施するなど、利用を高めていく。
新太田タクシー株式会社	フルーツ山之上線 美濃太田駅北口～山之上交流センター～総合福祉会館～美濃太田駅北口	コミュニティバスの利用促進に向け、継続的なダイヤ改正や利用促進策(YouTube等の活用やバスに親しむ日の実施、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済、スマートフォンを使ったモバイル定期券の導入により、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ・年間利用者数 目標値/6,640人 実績値/7,578人	運行を継続するとともに、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図り、利用を高めていく。
新太田タクシー株式会社	フルーツ蜂屋線 美濃太田駅北口～蜂屋交流センター西～美濃太田駅北口	コミュニティバスの利用促進に向け、継続的なダイヤ改正や利用促進策(YouTube等の活用やバスに親しむ日の実施、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済、スマートフォンを使ったモバイル定期券の導入により、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ・年間利用者数 目標値/6,640人 実績値/6,809人	運行を継続するとともに、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図り、利用を高めていく。
新太田タクシー株式会社	さとやま線 美濃太田駅北口～上廿屋～美濃太田駅北口	コミュニティバスの利用促進に向け、継続的なダイヤ改正や利用促進策(YouTube等の活用やバスに親しむ日の実施、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済、スマートフォンを使ったモバイル定期券の導入により、地域公共交通の利便性及び効率性の向上に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ・年間利用者数 目標値/10,770人 実績値/9,891人 未達成の理由:新型コロナウイルス感染症第4波及び第5波の影響で休校や総合福祉会館の休館が生じたため利用者数が想定程伸びなかったと考えられる。	運行を継続するとともに、利用促進策(懇談会、バスに親しむ企画など)を推進し、公共交通利用への関心や意識向上を図るとともに、目標達成に向け、外出を控える方に対し、利用を促す企画やPRを実施するなど、利用を高めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年12月24日

協議会名:	美濃加茂市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	美濃加茂市の交通将来像「安心・安全で便利な公共交通をみんなで育み、いつまでも健康で豊かに暮らせるまち」の実現に向け、今後さらに加速する少子高齢化社会を踏まえ、通勤・通学・通院や買い物等の交通手段の確保はもちろんのこと、お年寄りや皆さんがバスを使って外に出かけることにより、地域のコミュニティづくりや安心安全、健康増進、街なかのにぎわい創出、環境負荷の低減等、多くの課題を解決するための地域生活基盤となる公共交通の整備を目指す。また地域間幹線として位置づけるJRへの地域内フィーダー系統の接続を維持し、中心市街地や市外への移動を支える市民生活に必要な公共交通とすることを旨とする。

●あい愛バス・全路線の評価

単位：人

(参考)

バス事業年度 路線名	R1	R2	R3				R3利用者		評価 (A/B/C)	
	実績	実績	実績	目標値	達成率	R1比較	R2比較			
あまちの森・しょうよう線	15,804	17,510	18,778	19,630	95.66%	×	2,974	1,268	B	
むくの木・そうきち線	13,309	13,038	13,179	15,700	83.94%	×	-130	141	B	
フルーツ線	山之上線 (R2.10～)	11,331	11,410	7,578	6,640	114.13%	○	3,056	2,977	A
	蜂屋線 (R2.10～)	—	—	6,809	6,640	102.55%	○			A
さとやま線	8,907	8,876	9,891	10,770	91.84%	×	984	1,015	B	
ほたる線	6,868	5,846	6,648	7,830	84.90%	×	-220	802	B	
古井駅－可児川駅線	17,894	14,797	19,552	18,600	105.12%	○	1,658	4,755	A	
まちなかぐるっと線	15,506	13,411	15,423	17,030	90.56%	×	-83	2,012	B	
文化の森・公園線/3公園連絡線 (R2.10～)	5,743	3,566	6,022	5,160	116.71%	○	279	2,456	A	
合計	95,362	88,454	103,880	108,000	96.19%		8,518	15,426		

※各実績は、バス事業年度(10月～9月)の合計値

※緑で網掛けした路線は、地域内フィーダー国庫補助系統の路線